

## 「日本介護福祉士会の 30 周年に寄せて」

一般社団法人日本言語聴覚士協会 会長

内山 量史



このたび、日本介護福祉士会が創立 30 周年を迎えられたこと、心よりお祝い申し上げます。長年にわたり、介護福祉士の職業倫理の向上や専門的教育、研究を通じてその専門性を高めるための貢献に敬意を表します。

介護福祉士は、高齢化が進む現代社会においてますます重要な役割を担っています。貴会の活動は、介護福祉士の資質の向上と介護に関する知識、技術の普及を通じて、国民の福祉の増進に大きく寄与してきました。これらの取り組みが社会全体に与える影響は計り知れず、私たち言語聴覚士も多くの学びと刺激を受けております。特に、介護福祉士の専門性を高めるための研修や教育プログラムの充実は、現場での実践力を向上させるだけでなく、利用者の方々の生活の質を向上させるために不可欠なものです。日本介護福祉士会の取り組みが多く介護福祉士にとっての指針となり、日々の業務に役立っていることは明白です。

また、介護現場における多職種連携の重要性も増している中で、私たち言語聴覚士も介護福祉士との協力を通じて、より質の高いケアを提供することが求められています。コミュニケーション障害を持つ方々への支援においても、介護福祉士の存在は不可欠であり、相互の連携を深めることで利用者のニーズに応じたきめ細やかな支援が可能となります。

日本介護福祉士会の皆様がこれまで築いてこられた実績と信頼は、今後も介護分野の発展に大きく寄与することでしょう。30 周年を迎えるこの節目に、これまでのご尽力に改めて感謝申し上げますとともに、さらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。